

ベターリビング、一般生活者向け情報サイト

50代からの住まいと健康応援サイト

「住まいで元気NAVI」を開設

http://www.cbl.or.jp/slc/BL_site/top.html

優良な住宅部品の開発・普及および住生活水準の向上のため調査研究などの広範な事業を行う機関である一般財団法人ベターリビング(理事長:井上俊之 住所:東京都千代田区)は、高齢期になっても安心して暮らしていくための、住まいと健康に関する情報を集積した一般生活者向け情報ウェブサイト“50代からの住まいと健康応援サイト「住まいで元気NAVI」”(http://www.cbl.or.jp/slc/BL_site/top.html)を開設しました。当財団が一般生活者向けのこうしたウェブサイトを開設するのは初めての試みです。

「住まいで元気NAVI」は、ご自身の“これから”や“親のこと”などを身近な事として感じ始めた50代の女性にむけた住まいと健康応援サイトです。コンテンツ「住まいの暖かさと健康」では医学博士の高橋龍太郎先生(医療法人社団充会 上川病院 院長、元東京都健康長寿医療センター研究所 副所長)の監修のもと、ヒートショックによる健康被害の具体的防止策や暖かく住まうことと健康との有効な関係性などについて、健康長寿住宅エビデンス取得委員会の実証実験結果や学術資料、データなどを交えて一般の方にわかりやすく情報提供を行っています。また、住まいを適温に保つための工夫や、断熱や暖房による“あたたかりフォーム”等、具体的な情報を掲載しています。

住まいに関する調査・研究機関である当財団の強みを生かし、「住まいで元気NAVI」では、より良い住まいや暮らしの提案、そして必要な法制度や関連する情報等へのリンクを随所に設置しており、関心事に合わせてご自身で調べることができます。

「住まいで元気NAVI」は、住まいと健康に関する最新の情報を継続して提供し、ご自身が高齢期になる前に、住まいと健康を考えるきっかけをサポートできる情報発信を目指しています。

■「住まいで元気NAVI」について

サイト名: 50代からの住まいと健康応援サイト「住まいで元気NAVI」(略称:「住まいで元気NAVI」)

アドレス: http://www.cbl.or.jp/slc/BL_site/top.html

主なコンテンツ:

① 住まいの暖かさと健康

最近の研究で住まいの暖かさとそこに住む人の健康には密接な関係があることが明らかに。特にシニア世代では影響が大きくなります。血圧を下げ、ヒートショックを防止する方法などについても紹介しています。

■一般財団法人ベターリビングについて（www.cbl.or.jp）

一般財団法人ベターリビングは、国民の住宅に対するニーズが量から質へ変化しつつあった1973年に、建設大臣の許可を得て設立されました。以来、優良な住宅部品の開発・普及を中心として、住生活水準の向上に資することを目的としたさまざまな活動を進めてきました。活動の柱となっている「優良住宅部品認定事業」等を実施するとともに、調査研究や技術開発、およびこれらの成果の普及・広報活動、各種情報提供、さらに「つくば建築試験研究センター」や住宅および住宅部品に関するあらゆる基準への適合性を評価し、認証を行うなど、住宅に関する広範な事業を展開しています。今後、急速に進む高齢化への対応、個々人の価値観の変化、さらには、ISO基準の普及・拡大、地球環境問題への取り組みなど、「国際規格」を用いた対応が迫られています。このような状況下、当財団は、一般社団法人リビングアメニティ協会などの関係団体と連携し、ゆとりある住生活の実現に向け、これからもさまざまな事業を通じて、積極的に取り組んでまいります。

<本件に関する報道関係のお問い合わせ先>

一般財団法人ベターリビング サステナブル居住研究センター

永野・瀧口 TEL: 03-5211-0585